

2017 APG CUP SERIES ペナルティー表

ペナルティー表の作成の主旨

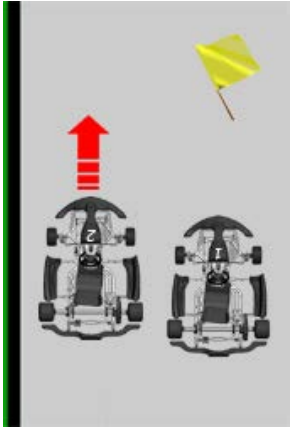
- ・本ペナルティー表は競技の安全を最優先と考え、ドライバー、エントラント、親権者、主催者、オフィシャル、すべての方がスポーツマンシップを持ち、本大会に参加していただくことを望みます。
- ・スポーツマンシップに準じ、技術向上と選手育成を目的といたします。
- ・大会に関連する参加者すべてのマナー向上を目的とし、安全で公平なレース運営を目的といたします。

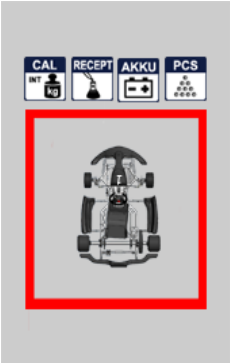
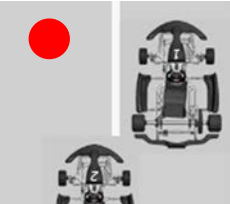
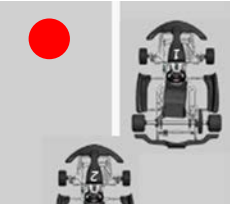
ペナルティーは下記の6種類があり、適用についてはAPG特別規則書に基づきます。

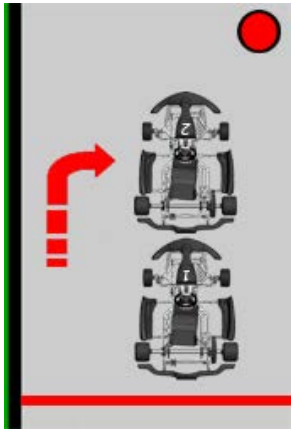
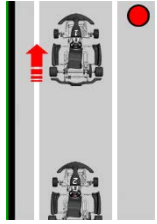
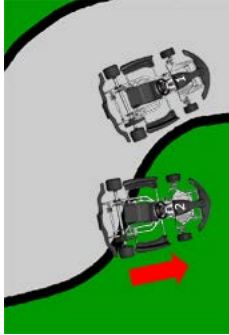
- 1、警告: その必要ありと認められた軽違反に対して発せられます。(全てのヒート時に適用されます。)
- 2、罰金: 成績に対するペナルティー迄に至らない程度の違反に適用されます。(エントリーの遅れ、グリーンフィンギング不参加等に適用されます。)
- 3、タイムペナルティー: 失格にならない程度の違反に対して適用されます。(成績に1~10秒加算)
- 4、ポイントペナルティー: 失格にならない程度の違反に対して適用されます。(予選ヒート、決勝ヒート時に適用されます。)
- 5、ラップペナルティー: 失格にならない程度の違反に適用されます。(成績から3~10ポジションダウン)
- 6、失格: 下記の反則行為に適用されます。
 - (1) 規則に反してまたは、不当に得たアドバンテージ。
 - (2) 故意に自己または、他人の安全を省みる事無く行う危険行為。
 - (3) 与えられたオフィシャルの支持を故意に無視した場合。
 - (4) 与えられたフラッグサインの無視。

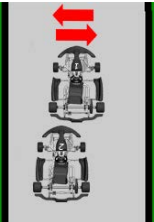
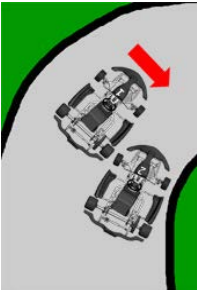
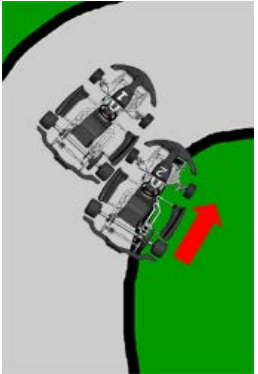
- ・大会期間中の違反行為に対するペナルティーは、競技長が大会審査委員会に諮って同委員会によって決定されます。
- ・大会審査委員会は状況に応じてペナルティーを軽減したり、強化したりする頃ができます。

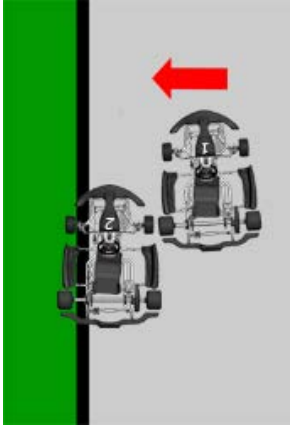
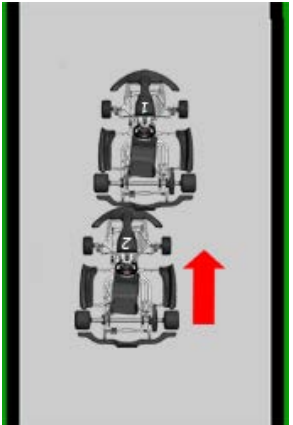
ペナルティー例

反則行為	解 説	図 解	ペナルティー判断
例 1 フラッグ無視	<p>コースオフィシャルや競技長から出された旗に従わないことをフラッグ無視といいます。</p> <p>これは、旗の種類、従わなかった理由、利益を得た否かに関わらず、適用されます。</p> <p>一般的に違反は下記の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 黄旗区間での前車追い越しや追い越しをかける行為 (2) オレンジポール旗、黒旗提示後もレースを続ける。 (3) 青旗の振動に対して走行ラインを譲らない。 (4) 白黒旗の提示を受けても、その警告行為をなおさない。 (5) その他。 <p>*旗によってはドライバーサインを必ず出さなくてわなりません。</p> <p>尚、JAFが発表する判断、規則と若干異なる場合がありますがAPGシリーズでは、右欄の中から選択判断をいたします。</p>		<p>(1) 黄旗無視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式練習及びタイムトライアル *タイムトライアルの結果に2秒加算。 ・予選ヒート及び決勝ヒート *1周減算。状況によってはタイムペナルティ <p>(2) オレンジポール無視</p> <ul style="list-style-type: none"> *当該ヒート失格。 <p>(3) 青旗無視</p> <ul style="list-style-type: none"> *警告。 <p>(4) 白黒旗無視</p> <ul style="list-style-type: none"> *1回目は警告。同一ヒート累積2回目はヒート失格の場合あり。 但し、スタート時とヒート中の白黒旗は累積しないものとする。

<p>例 2 白黒旗</p> <p>チェッカー旗</p>	<p>(1) ローリング隊列を乱すような行為には白黒旗が提示されます。 *白黒旗は他のヒートにまたがって累積する事はありません。</p> <p>(2) 危険な行為、レースを乱すような行為には白黒旗が提示されます。再度、その行為が繰り返された場合、白黒旗が累積2回となり黒旗が提示されます。</p> <p>(1) チェッカー旗が振られたが、安全なスピードまで落とさない場合やダブルチェッカー旗を受けた場合。 *チェッカー旗を受けた後は、減速し前方の車両を追い越さないようにしなければなりません。</p>		<p>(1)、(2)黒旗提示 *レース失格 直ちに、競技長のもとに出頭して下さい。 ローリング中の白黒旗とヒート中の白黒旗は累積しないものとする。</p> <p>(1)ダブルチェッカー旗 *注意。</p>
<p>例 3 車両違反 及び 服装違反</p>	<p>テクニカルレギュレーションに定められた全ての部品を装備していなかった場合を車両違反となります。 レース前、レース中、レース後、発生する時間は問いません。 同様に利益の有無も問いません。 ヒート後の車検時の状態を判断の基準とします。</p> <p>特徴的な違反は下記のものです。</p> <p>(1) 重量違反。 (2) 間違った寸法や違反部品の使用等。 (3) 違反燃料、違反オイル、クーラントの使用、その他。 (4) タイヤへの加工、薬品の塗布等。 (5) 違法な改造。 (6) ドライバーの安全装備違反。</p>		<p>(1)、(2)の場合 *当該ヒート失格。</p> <p>(3)、(4)、(5)の場合 *レース失格。 悪質な場合は、シリーズ出場停止、または失格。</p> <p>(6)の場合 *警告後、タイムペナルティ。 (成績に1秒~10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3~10ポジションダウン)</p>
<p>例 4 ローリング隊列 違反</p>	<p>(1) ローリングの隊列を著しく乱す行為や、ローリング中のプッシング等によって競技振興を遅らせた場合。</p> <p>(2) 先頭の2台は隊列を守り、スピードを整える義務があります。この義務を怠った場合ペナルティーの対象となります。</p> <p>*当コースでは、ローリング中のヒーティングは禁止としていません。ただしスピンをする、コースを外れる等の行為については危険行為とみなし、コース長の指示のもと最後尾スタートとする。</p>		<p>(1)の場合 *警告後、ポイントペナルティ。 悪質な場合は、当該ヒート失格。</p> <p>(2)の場合 *警告後、同行為が繰り返された場合、最後尾に繰り下げとなる。</p>
<p>例 5 スタート隊列違反</p>	<p>(1) スタートが切られる前に、2番のカートのようにタイヤが白線をまたぎ追い抜く行為を早めに始める事をスタート隊列違反とします。</p>		<p>(1)の場合 軽度の場合→白黒旗にて警告。 悪質な場合→タイムペナルティ。 (成績に1~10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3~10ポジションダウン)</p>

<p>例 6 ポジション復帰禁止エリアでの復帰</p>	<p>(1) ローリング走行中、ポジション復帰禁止エリア(コース図に指定箇所表示あり)に入ってから、2番カートのようにローリング中のカートを追いつき、自分のポジションに復帰した場合。</p> <p>*ドライバーマナーとして、元のポジションに戻る場合には、しっかりと手を上げ、他車にアピールをし安全に復帰することを心がけてください。</p> <p>強引に割り込み、隊列を大きく乱したり、事故を誘発した場合危険行為とみなされます。</p> <p>*ポジション復帰禁止エリアとは、7コーナー手前の両サイドに置かれた赤いパイロンを直線で結んだ線上から、ゴールラインまでとし、その区域内で復帰した場合は、ペナルティーとなります。</p> <p>*ローリングの隊列に大きく遅れた場合や、エンジンがかからず、ピットロードからスタートした車両に対して、ドライバーに白地に赤×印のポジション復帰禁止ボードを提示します。提示されたドライバーはローリングの最後尾につかなければなりません。また、複数台いる場合は、一番遅く指示された者を最後尾とします。</p>		<p>(1)の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> *当確ヒート失格。 *隊列のペースを乱す危険行為は警告後、ポイントペナルティー。(成績から3~10ポジションダウン) *黒旗提示は、スタート成立後ドライバーに対して指示されます。直ちに競技長のもとに出頭して下さい。
<p>例 7 ジャンプスタート</p>	<p>下記項目をジャンプスタートとみなします。</p> <p>(1) スタートが切られる前に、1番のカートがアクセルを大きく踏み込み1番のカートと2番のkartの間にカート1台分以上隙間が開くような行為の場合。</p> <p>(2) リタイヤ等によって前方のカートがいない場合の空席グリットが確保されずに詰められている場合。</p> <p>(3) スタートする前に自発的にスタートポジションを上げた場合</p>		<p>(1)の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> *注意または、警告。 <p>(2)、(3)の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> *ラップペナルティー。(成績から1周減算)
<p>例 8 ショートカット</p>	<p>2番のkartのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することをショートカットとします。</p> <p>ペナルティーの判断</p> <p>(1) 2番のkartが順位を上げるか、その周回中のラップが明らかに速かった場合。</p> <p>(2) 1番のkart又は、その他のkartが2番のkartが復帰することで被害を負った場合。</p> <p>(3) 1番のkart又は、その他のkartが2番のkartが復帰することで順位を下げたり、リタイヤした場合。</p> <p>*停止しているkartやトラブルで失速したkartとの接触を避ける場合は、この限りではありません。</p>		<p>軽度の場合→白黒旗にて警告 悪質な場合→ヒート失格。</p> <p>又は、タイムペナルティー。(成績に1~10秒加算) 又は、ポイントペナルティー。(成績から3~10ポジションダウン)</p> <p>※他の違反行為と重複した場合、当該ヒート失格とする。</p>

<p>例 9 ジグザグ走行</p>	<p>1番のカートのように直線部分でカート幅以上に左右に蛇行することをジグザグ走行といいます。</p> <p>2番のカートから、1番のカートが離れている場合や2番のカートが追い抜く事が出来たとしても適用されます。</p> <p>ペナルティーの判断</p> <p>(1) 1番のカートがレース中(同一ヒート中)に2回以上同行為を行った場合。</p>		<p>軽度の場合→白黒旗にて警告 悪質な場合→タイムペナルティ。 (成績に1~10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3~10ポジションダウン)</p> <p>※他の違反行為と重複した場合、当該ヒート失格とする。</p>
<p>例 10 カットイン コーナーリング時の 走路妨害</p>	<p>1番のカートが2番のkartの進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更することをカットインといいます。</p> <p>2番のkartが1番のkartの少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティーの判断</p> <p>(1) 2番のkartの順位を落とすか又は、リタイヤした場合。 (2) 2番のkartがダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすかリタイヤした場合。</p> <p>*1番のkartが2番のkartの走行ラインを残して走行する場合は、カットインと判断されません。</p>		<p>軽度の場合→白黒旗にて警告 悪質な場合→タイムペナルティ。 (成績に1~10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3~10ポジションダウン)</p> <p>※他の違反行為と重複した場合、当該ヒート失格とする。</p>
<p>例 11 エッジイン 無理な突っ込み</p>	<p>2番のkartが十分な隙間がないのに、1番のkartの内側に入っていく行為をエッジインといいます。</p> <p>*例としてスタート時の混雑からの無理なラインと取り、強引な追い抜きの行為など。または適正な減速をする様子がない行為。</p> <p>2番のkartの多くの部分が1番のkartのイン側にいる場合、または2番のkartが接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題ありません。</p> <p>ペナルティーの判断</p> <p>(1) 2番のkartが順位を上げた場合。 (2) 1番のkartが順位を落とすかまたは、リタイヤした場合。 (3) 1番のkartがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイヤした場合。</p>		<p>軽度の場合→白黒旗にて警告 悪質な場合→タイムペナルティ。 (成績に1~10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3~10ポジションダウン)</p> <p>※他の違反行為と重複した場合、当該ヒート失格とする。</p>

<p>例 12 プッシュアウト 幅寄せ行為</p>	<p>1番のカートがラインを変更して2番の車を完全に、または部分的にコース内外に問わず追いやる行為をプッシュアウト(幅寄せ)と いいます。 これは双方の車が接触したな否かは関係ありません。</p> <p>2番の車が1番の車の少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の車の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティーの判断</p> <p>(1) 1番の車が順位を上げた時。 (2) 2番の車が順位を落とすか、またはリタイヤした場合。 (3) 2番の車がダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすかリタイヤした場合。 (4) 1番の車が危険行為と判断された場合。 *1番の車が2番の車の走行ラインを残して走行する場合はプッシュアウトと判断されません。</p>		<p>軽度の場合→白黒旗にて警告 悪質な場合→タイムペナルティ。 (成績に1~10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3~10ポジションダウン)</p> <p>※他の違反行為と重複した場合、 当該ヒート失格とする。</p>
<p>例 13 プッシング 後方からの接触 行為</p>	<p>2番の車のフロントが1番の車のリアに接触することをプッシングとします。又は、ストレート走行中やコーナーリング中、前車を押し出す行為に関しても同様とします。</p> <p>下記のペナルティーの判断を考慮した結果、2番の車が利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティーの対象となります。</p> <p>*対象となりやすいエリア コーナーへの侵入区間/旋回区間などの後方からの接触が危険なエリアです。</p> <p>ペナルティーの判断</p> <p>(1) 2番の車が順位を上げるか、同一ラップ中に元の順位に戻らなかった場合。 (2) 1番の車が順位を落とすか、またはリタイヤした場合。 (3) 1番の車がダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすかリタイヤした場合。 (4) 2番の車が危険行為と判断された場合。 *1番の車が失速などによって起因した後部からの接触は、プッシングと判断しない場合があります。</p>		<p>軽度の場合→白黒旗にて警告 悪質な場合→タイムペナルティ。 (成績に1~10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3~10ポジションダウン)</p> <p>※他の違反行為と重複した場合、 当該ヒート失格とする。</p>

<p>例 14 危険行為</p>	<p>下記項目を危険行為とします。</p> <p>(1) 無理な進入速度で多重クラッシュを招く行為。 (2) 走行ラインを残さず、危険なブロックによって相手と接触した場合。 (3) コース上に停止してしまい、その後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合。 (4) 停止後に復帰する際、後方車両がいるにも関わらず通過前に再スタートをした場合。</p>		<p>軽度の場合→白黒旗にて警告 悪質な場合→タイムペナルティ。 (成績に1～10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3～10ポジションダウン)</p> <p>※他の違反行為と重複した場合、 当該ヒート失格とする。</p>
<p>例 15 ピットエリア ピットロードでの危険行為</p>	<p>下記項目をピットエリア、ピットロードでの危険行為とします。</p> <p>(1) ピットエリアに入るため、ピットロードを減速しなかった場合、ピットロード徐行違反と判断されます。 (2) ピットエリアに向かったが、エンジンを停止せずにコースに復帰した場合、ピットスルー危険行為と判断されます。</p>		<p>軽度の場合→白黒旗にて警告 悪質な場合→タイムペナルティ。 (成績に1～10秒加算) 又は、ポイントペナルティ。 (成績から3～10ポジションダウン)</p> <p>※他の違反行為と重複した場合、 当該ヒート失格とする。</p>
<p>例 16 ドライバーモラル</p>	<p>(1) ドライバーズブリーフィング(ミーティング)に不参加の場合。 (2) ドライバーサインを出さない場合。 (3) 競技役員、オフィシャルからの指示に従わなかった場合。 (4) 走行中の相手を挑発する行為をした場合。 (5) レース中のコース内での他者への援助。(メカニックも含む) (6) 危険行為などで、他者を妨害した場合。 (7) 工具携帯走行。 (8) 指定エリア(ピット、パドック)以外での作業をした場合。 (9) 他人への言葉による脅かしや脅迫、暴力行為をした場合。 (10) 喫煙指定場所以外で喫煙した場合。 (11) パドックでの火器取り扱い注意を無視し、違反した場合。 (12) パドックでの常識外での場所取りや禁止区間への車輛の乗り入れ。</p>		<p>(1)の場合 *罰金または、罰則。 (2)の場合 *注意または、警告。 (3)、(9)の場合 *警告、暴力行為があった場合はレース失格。 (4)、(6)、(12)の場合 *警告、悪質な場合はレース失格。 (5)の場合 ・公式練習 *タイムトライアルの成績に1～10秒加算。 ・タイムトライアル、予選ヒート、決勝ヒート *当該ヒート失格。 (7)の場合 *レース失格。 (8)の場合 *警告、同行為が繰り返された場合、 当該ヒート失格。 (10)、(11)の場合 *注意または、警告(エントラントやメカニックが行った場合でもドライバーに対してペナルティを科せる場合がある。</p>

抗議	<p>書面と抗議料を添付の上、エントラントより競技長に提出して下さい。</p> <p>(1) 技術委員または、車両検査委員の決定に対する抗議。 (2) 競技中の過失または、反則に対する抗議。 (3) 競技の成績に関する抗議。</p>		<p>(1)の場合 *決定直後とする。</p> <p>(2)の場合 *その競技終了後30分以内とする。</p> <p>(3)の場合 *暫定結果発表後30分以内とする。 *抗議料は20,900円(税込)となります。</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------